

私立学校における学習支援の現状と課題について

1. 学習支援の取組状況

高等学校（全日制） 15校 （臨時休業：全校5／31まで）

●取組状況

- 教科書に基づく家庭学習の実施 15校
- 「学習計画表」等による計画性あり 15校
- 個々の児童生徒と電話、電子メール、郵便等を活用して
学習指導や学習状況の把握を実施 15校
- PCやタブレット、スマホの活用等の工夫 15校

●ICTを活用した学習支援の状況（重複あり）

- ホームページ等でのテキスト、画像等の掲載 7校
- 動画配信の実施 15校
- 【動画配信の内容】
 - ・「ZOOM Cloud meetings」（同時双方向型）を活用 6校
 - ・「YouTube」を活用 6校
 - ・その他有料サービス等を活用 6校
(Classi、スタディサプリ、ロイロノートなど)

●家庭でのネット環境

ネット利用可能率 98.4% （※2校は未確認）

中学校 9校 （臨時休業：8校5／31まで、1校6／3まで）

●取組状況

- 教科書に基づく家庭学習の実施 9校
- 「学習計画表」等による計画性あり 9校
- 個々の児童生徒と電話、電子メール、郵便等を活用して
学習指導や学習状況の把握を実施 9校
- PCやタブレット、スマホの活用等の工夫 9校

●ICTを活用した学習支援の状況（重複あり）

- ホームページ等でのテキスト、画像等の掲載 2校
- 動画配信の実施 8校

【動画配信の内容】

- ・「ZOOM Cloud meetings」（同時双方向型）を活用 5校
- ・「YouTube」を活用 3校
- ・その他有料サービス等を活用 4校
(Classi、スタディサプリ、ロイロノートなど)

●家庭でのネット環境

ネット利用可能率 99.0% (※1校は未確認)

小学校 2校 (臨時休業：全校5/31まで)

●取組状況

- 教科書に基づく家庭学習の実施 2校
- 「学習計画表」等による計画性あり 2校
- 個々の児童生徒と電話、電子メール、郵便等を活用して
学習指導や学習状況の把握を実施 2校
- PCやタブレット、スマホの活用等の工夫 2校

●ICTを活用した学習支援の状況（重複あり）

- 動画配信の実施 2校
- 【動画配信の内容】
- ・「ZOOM Cloud meetings」（同時双方向型）を活用 1校
- ・その他有料サービス等を活用 1校
(Classi、スタディサプリ、ロイロノートなど)

●家庭でのネット環境

ネット利用可能率 100% (※1校は未確認)

2. 課題（主な意見等）

- 学校によって ICT 学習環境（タブレット端末を全生徒に支給している学校は、高校4校、中学校2校など）や提供授業のコマ数などに格差が生じている。
- 児童生徒の家庭によって通信環境に差があるため、すべての児童生徒に同時に、同じ学習支援内容を提供できない場合があり、そうした児童生徒へのフォローを丁寧に行う必要がある。
- スマホ等の長時間使用の弊害があることに留意し、オンラインに依存しすぎることなく、紙媒体等うまく組み合わせた方法をとる必要がある。
- 同時双方向性のあるツールを活用して、児童生徒と教員がコミュニケーションとる効果は大きい。表情や声のトーンも分かるため、ホームルーム等での活用も続けたい。
- 動画配信等にかかる撮影及び配信操作等、教員のスキルを向上させる研修等を行う必要がある。

3. 休業期間が更に長期化した場合の課題（主な意見等）

- 保護者からは、高校入試の学習範囲がどうなるか、不安の声が寄せられている。
- 授業時間の確保のためには、学校行事の取捨選択など年間行事計画を大幅に見直す必要が生じる。
- 高校総体（インターハイ）中止により、スポーツ推薦を目指す生徒に不安が広がっている。
- 学習塾等の教育産業には地域偏在があり、地域間での学力格差が拡大する懸念がある。
- 保護者からは、授業料返還に関する問い合わせや要望もあり、学校経営上の課題が発生する懸念がある。